

議会だより

令和3年第3回南関町議会定例会が
6月8日から10日までの3日間開かれました

編集：議会事務局

議案番号	議案名	表決	結果
報告第1号	繰越明許費の繰越報告について(令和2年度南関町一般会計予算)	令和3年6月10日	報告
議案第27号	専決処分報告及び承認を求めることについて(南関町税条例等の一部を改正する条例)	〃	承認
議案第28号	専決処分報告及び承認を求めることについて(令和2年度南関町一般会計補正予算(第9号))	〃	〃
議案第29号	南関町条件付採用職員及び臨時的任用職員の分限に関する条例の制定について	〃	原案可決
議案第30号	南関町職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第31号	南関町工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第32号	令和3年度南関町一般会計補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第33号	令和3年度南関町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第34号	令和3年度南関町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第35号	令和3年度南関町下水道事業補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第36号	物品売買契約の締結について	〃	〃
議案第37号	工事請負契約の締結について	〃	〃
	議員派遣の件について	〃	〃
	委員会報告について「総務産業常任委員会・陳情付託の件」	〃	継続審査
	閉会中の継続審査について「総務産業常任委員会・陳情付託の件」	〃	原案可決
	閉会中の継続調査について「文教厚生常任委員会」	〃	〃
	閉会中の継続調査について「総務産業常任委員会」	〃	〃
	閉会中の継続調査について「広報常任委員会」	〃	〃
	閉会中の継続調査について「議会運営委員会」	〃	〃

陳情などの取り扱いと結果 (6月定例会分)

継続審査 1件
 ・陳情第2号(平成30年5月31日受理)
 米田地域の道路改良工事等の早期実施を求める陳情

※6月定例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般傍聴は中止しました。

一般質問

6月定例会では、鶴地仁議員、境田敏高議員、中村正雄議員、立山比呂志議員、北原浩一郎議員、打越潤一議員、西田恵介議員、杉村博明議員の8人が一般質問を行いました。
 一般質問の内容と執行部の答弁は、町立図書館に配置の「会議録」および町ホームページをご覧ください。
 (6月定例会分は9月に公開予定)

南関町シルバー人材センター

シルバー人材センターでは、草刈・草取り・農作業・剪定・伐採・施設受付・事務処理・家事援助等々、いろいろな仕事のご依頼を受けています。



訪問型サービスB事業 家事お助け隊員も同時募集中!

*例えば、洗濯、部屋の掃除、調理、生活用品の買い物等1回につき1時間程度、要介護1・2の認定を受けた皆さんの日常生活を手助けするお仕事です。身体介護は行いません。

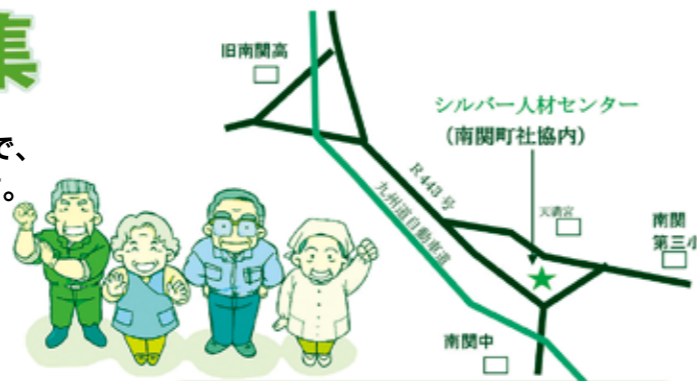


新規会員大募集

☆おおむね60歳以上の南関町にお住まいの人で、健康で働く意欲のある人、お待ちしております。
 特別な資格はいりません。

☆働いた仕事に応じ、配分金が受け取れます。

地域の皆さんからの信頼も厚く、大変やりがいのある仕事です。
 あなたの経験と能力を生かして、一緒に働いてみませんか!



●お問い合わせ先
 南関町シルバー人材センター
 南関町大字小原 1405
 電話 66-9288 (担当: 矢野)



写真左から原賞会長、田中さん、徳永さん

長年の努力の表彰

食生活改善推進員協議会

7月12日、全国食生活改善推進員協議会名誉会員賞を受賞した町食生活改善連絡協議会(原賀由美子会長)の会員徳永敬子さん(関町)と田中榮子さん(豊永)が佐藤町長を訪問し、受賞を報告しました。
 この賞は、地域の食生活改善や食文化の継承の担い手として活躍し、90歳を迎えた人を対象に送られるもので、町では初の受賞となりました。
 受賞した徳永さんは「地域のため家族のために食生活改善の活動を続けてきてよかった」と笑顔で話し、田中さんは「今まで長い間活動を続けてきたので、これからは後継者の育成をしていきたい」と今後の目標を話しました。

竹の魅力の世界に発信

株式会社 ヤマチク

株式会社ヤマチク(山崎清登代表取締役)がつくる竹の箸「okaeri(おかえり)」が日本時間の6月9日、世界で最も歴史のある国際的な広告・デザイン賞「ニューヨークADC賞」のパッケージデザイン部門においてMERIT賞を受賞しました。
 受賞した「okaeri」は、頭の赤い、シンプルな竹の箸であり、純国産の天然竹を削って作られています。また、軽さや持ちやすさ、いろんな所作に対応できる繊細さが特徴です。
 山崎彰悟専務は、「町の会社がこのような賞を取れるのは誇らしいこと。ローカルの可能性が広がり、これから若い人の自己実現の選択肢が増えることに繋がれば」と力強く話しました。



山崎専務と「okaeri」箸



田植えを楽しんでいる様子

どろんこになってがんばったよ

こどもの丘保育園田植え体験

こどもの丘保育園(菅原裕園長)の年長児39人は6月30日、肥猪の水田で「がまだす隊」(田中誠一隊長)の隊員と田植え体験を行いました。
 同園では食の大切さを学ぶことを目的として毎年この活動を行っており、稲を植えた後は秋に稲刈りが行われ、収穫したもち米を使って餅つきをします。
 園児たちは、普段あまり感じる事のない泥の感触に戸惑いながらも、楽しく苗を植えました。
 参加した園児からは、「田んぼがドロドロしてて足が埋まっちゃた」「土がチョコレートみたいでおもしろい」「ドロドロしたけど上手にできた」との声が聞かれました。

農地パトロールの出発式開催

農業委員会

町農業委員会は7月12日、南の関うから館で農地の利用状況調査実施に向けた出発式を行いました。
 これは農業委員会が、耕作されていない農地の把握や違反転用の発生を防ぐために毎年現地調査を実施しているもので、7月から9月にかけて行われます。また、対象となる農地は町内全ての農地であり、地域の農業委員や農地利用最適化推進委員が実際に現地に行き調査を行います。
 会長の竹島久利さん(下坂下)は「少子高齢化の影響によって離農する人が増え、耕作放棄地が年々増加している。今後は、優良な農地を町と協力しながらしっかり保護していきたい」と力強く話しました。



農地パトロールに向け、気合いを入れる調査委員